

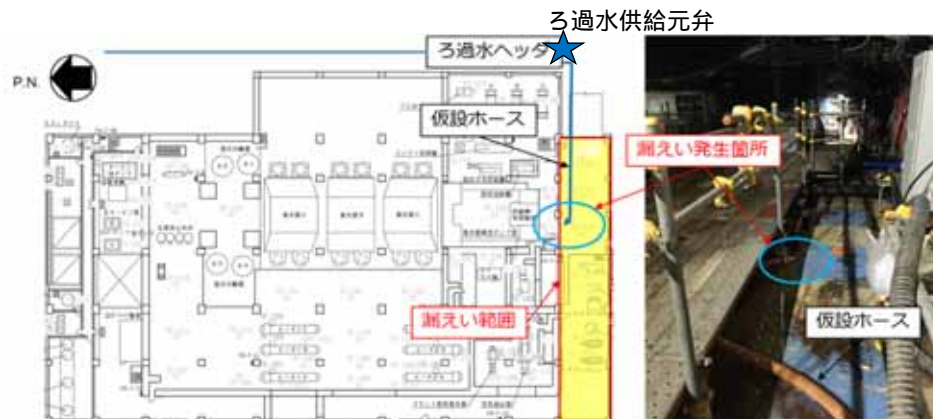
福島第一原子力発電所

3号機タービン建屋大物搬入口付近におけるろ過水の漏えいについて

< 参 考 資 料 >
2020年8月26日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

< 概要 >

- 8月24日、午後1時18分頃、当直員が「3号機建屋漏えい監視盤異常」の警報が発報していることを確認しました。警報発報の要因調査を行っていたところ、午後2時25分頃、3号機タービン建屋大物搬入口付近にて作業用ろ過水供給用の仮設ホースから、ろ過水の漏えいと水たまり（約50m×約10m）を発見しました。
ろ過水:坂下ダムから取水した水をろ過した水
- その後、午後2時29分頃、ろ過水供給元弁を閉め、ろ過水の漏えい停止を確認しました。
- なお、この漏えいに伴う、敷地境界モニタリングポストや連続ダストモニタ、排水路モニタに有意な変動がないことを確認しており、外部への影響はありません。
- また、漏えいしたろ過水（約56m³）については、回収できたろ過水を3号機タービン建屋地下階へ排水し、処理しています。ろ過水タンクの水位変動から算出
- 当該のろ過水供給元弁が開いていた理由については、現在調査中ですが、応急処置として当該弁と類似の弁へチェーンロック等の取り付けを行っており、今後適切に原因の追及と再発防止対策を講じてまいります。



【3号機タービン建屋地上1階 平面図】

【現場状況】



【応急処置後】